# 測量年表

## 時代

飛鳥時代 592 | 奈良時代 710 | 平安時代 794 | 鎌倉・室町・安土桃山時代 1185 | 江戸時代 1603 | 明治時代 1868

## 暦の歴史

**元嘉暦(604-696)**
・日本最古の暦
・持統天皇が採用

百済から僧を招き元嘉暦が作られたと伝えられる

**儀鳳暦(697-763)**
・文武天皇が採用

唐より新羅を介して儀鳳暦が日本へ伝わる

**大衍暦(764-861)**
・整備された後世模範の暦

吉備真備が唐より大衍暦を持ち帰る

**宣明暦(862-1684)**
・日食、月食の予報が進歩した暦
・822年間使われる

渤海大使によって唐より宣明暦が伝えられる

【宣明暦】

**貞享暦(1685-1754)**
・中国暦を日本での天文観測で補正した独自の暦

渋川春海が中国の授時暦を基に貞享暦を施行

【貞享暦】

**宝暦暦(1755-1797)**
・貞享暦を小改正しただけの暦

朝廷が宝暦暦を施行

**寛政暦(1798-1843)**
・西洋天文学を初めて取り入れた暦

幕府天文方高橋至時らが寛政暦を施行

【寛政暦】

**天保暦(1844-1872)**
・中国暦を超えた西洋天文学暦

幕府天文方渋川景佑らが天保暦を施行

**太陽暦(1873~)**
・欧米との統一化を図った暦

明治政府になり太陽暦(グレゴリオ暦)を採用

## 出来事

600年
聖徳太子が中国との国交開始

645年
大化の改新

1589年
豊臣秀吉が太閤検地を開始

【検地風景】
常総市教育委員会「水海道市史」より

1695年
初の和製渾天儀を渋川春海が製作

【渾天儀】

1746年
江戸神田に天文台開設

【グレゴリー式反射望遠鏡】

1795年
伊能忠敬が高橋至時に弟子入り

【伊能忠敬象】
千葉県香取市　伊能忠敬記念館所蔵

江戸後期
後のトランシットとなる大方儀が作られる

【トランシット型測量器】

## 地図の歴史

600年頃
遣隋使、遣唐使により測量技術が伝わる
→ 都や寺院建設に測量技術を応用

646年
班田収授法制定により、農地の測量が始まる
→ 年貢徴収のための地図作成

743年
行基が日本最古の地図行基図を作成
→ 以後の日本地図の原型

【行基図絵皿】

1589年
検地奉行による全国の農地測量
→ 共通化の図られた地図作成

【改正日本輿地路程全図】

1779年
長久保赤水が改正日本輿地路程全図刊行
→ 初めて経緯線を採用した地図

1800年
伊能忠敬が全国の測量開始
→ 緯度一度を求めるための測量

1810年
高橋景保が新訂萬国全図完成
→ 樺太を島とした最新世界地図

【新訂萬国全図】

統治のための国絵図

1604年　慶長国絵図
・一国を単位とする国絵図の初回

1664年　正保国絵図
・巡見使により縮尺などを調整

1701年　元禄国絵図
・国堺が厳密化

1831年　天保国絵図
・幕府雇の絵師により清書

館内企画展アーカイブ

# バーチャル展示室 360

THE VIRTUAL EXHIBITION ROOM 360

館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** › http://www.tcmit.org/360virtual/

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介するデジタルアーカイブです。
360 度 VR コンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。

トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。
Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.